

## さかしたの仕事 No.2 (研究分野別業績、20210401 現在)

### I. 北海道農業の史的研究

- (1) 戦前期 [大学院生・助手時代 1978～1989]
- (2) 戦後 通史

### II. 北海道の地域農業構造・農協の存立構造に関する研究

- (1) 大規模経営地帯の構造問題 [北海道農業研究会 1986～1993]
- (2) 北海道農業の地帯構成 [北海道農業研究会、北海道地域農業研究所 1991～2006]
- (3) 集落構造に関する研究
- (4) その他
- (5) 地域農業振興に関する調査 [北海道地域農業研究所 1990～]

### III. 農協問題に関する研究

- (1) 農協合併に関する研究 [協同組合研究室、北海道地域農業研究所 1986～]
- (2) 北海道の農協の組織・事業に関する研究 [北海道地域農業研究所・全中奨励研究 1999～]
- (3) 北海道の農業支援システムに関する研究 [北海道地域農業研究所 2005～]
- (4) 北海道の農協金融に関する研究 [北海道地域農業研究所(信連) 2006～]
- (5) 北海道の農協の史的展開に関する研究
- (6) 総合的研究

### IV. 中国農業・農村の研究

1. 中国東北地方
  - (1) 中国東北の家族経営と農村諸組織に関する研究 [1993～1999]
  - (2) 国有農場に関する研究 [1998～2013]
  - (3) 一般農村の稲作経営に関する研究
2. 中国沿海地方
  - (1) 中国沿海農業の集約化と組織化に関する研究 [1998～]
  - (2) 中国輸出野菜基地に関する定点観測的調査 [2001～2008]
  - (3) 都市近郊農村の定点観測的調査—江村の追跡調査 [2004～]
3. 海南島における国有農場調査 [2015～2019]

### V. 韓国の農業・農村研究

1. 韓国農業の地帯構成に関する研究 [1992～2018]
  - (1) 都市近郊農村—泉田里の定点観測
  - (2) 中山間農村—忠清北道
  - (3) 平場農村—全羅北道
  - (4) まとめ
2. 韓国農業の新しい動き
  - (1) 新環境農業
  - (2) 山間農業とマウル開発
  - (3) 農協広域販売体制
3. 歴史研究
4. 日韓シンポの成果

VI. 台湾農業研究 [1998～2005]

VII. その他海外に関する研究

- (1) ポーランド農村の研究 [1990～1992]
- (2) イギリスの農村社会に関する研究 [2002～]
- (3) 中央アジアに関する研究 [2010～]

## I. 北海道農業の史的研究

### (1) 戦前期 [大学院生・助手時代 1978～1989]

坂下明彦『中農層形成の論理と形態－北海道型産業組合の形成基盤』御茶の水書房、1992

「小作制大農場における村落形成の起点に関する一考察」『農経論叢』第37集、1981

「農村再編政策と農事実行組合」『農経論叢』第38集、1982

「農事実行組合理型」農村再編の展開構造」『農経論叢』第39集、1983

「北海道農法の成立過程」(玉真之介と共著)桑原真人編『北海道の研究』第6巻、清文堂、1983

「戦間期北海道農業論の課題」『農経論叢』第40集、1984

「北海道における自作農創設政策の展開と特質」『農経論叢』第41集、1985

「十勝畑作地帯における農地市場の性格と中農層の形成」『農経論叢』第43集、1987

「戦間期産業組合聯合会の再編成問題」『農経論叢』第44集、1988

「北海道における地主制と土功組合」『農経論叢』第45集、1989

「戦間期における北海道農業の地帯構成」『農経論叢』第46集、1990

坂下明彦「札幌の農業」「札幌の畜産と酪農」『新札幌市史』第三巻、北海道新聞社、1994

坂下明彦・高杉直也「戦時期北海道農業研究会の活動とその性格」北海道農業研究会『北海道農業』Vol.3、No.2、1984

### (2) 戦後 通史

坂下明彦「農業団体からみた日本農業史」太田原高昭他編著『農業経済学への招待』日本経済評論社、1999

坂下明彦「農業」(第2章)大沼盛男編著『北海道産業史』北海道大学図書刊行会、2002

坂下明彦「農用地開発適地の変遷と草地利用」(第3章)、坂下明彦「西士幌地区」(第4章6)『北海道における農用地開発事業の展開と評価』北海道開発協会、2002

坂下明彦「北海道農地開発協会とまぼろしの道農地開発公社－1954-55年の攻防－」『北海道史への扉』第2号、2021

## Ⅱ. 北海道の地域農業構造・農協の存立構造に関する研究

### (1) 大規模経営地帯の構造問題 [北海道農業研究会 1986～1993]

牛山敬二・七戸長生編著『経済構造調整下の北海道農業』北大図書刊行会、1991

- 「北海道の農業集落形成の特質と類型」(3章1節)
- 「「開発型」農協の総合的事業展開とその背景」(4章6節)
- 「大規模草地開発と交換分合」(中原准一と共著)(6章2節)

白井晋編著『大規模稲作地帯の農業再編—展開過程とその帰結』北大図書刊行会、1994

- 「大規模稲作地帯における問題発現の構図」(序章2節)
- 「石狩川流域開発における下流域の位置」(1章1節)
- 「下流域内部の格差構造と戦後開拓」(仁平恒夫と共著)(1章2節)
- 「「開発型」農協の事業構造変化」(2章3節)

坂下明彦「大規模稲作地帯の形成と農協事業構造の特質」『北海道農業』No.8、1987

坂下明彦「大規模畑作地帯における農協の事業展開」『北海道農業』No.9、1989

坂下明彦「規模拡大の地域差と現在の土地問題」『北海道農業』No.12、1990

坂下明彦「水利組織と土地利用」『北海道農業』No.13、1990

坂下明彦「石狩川下流域の農業構造問題と打開の方向」『北海道農業』No.14、1991

### (2) 北海道農業の地帯構成 [北海道農業研究会、北海道地域農業研究所 1991～2006]

谷本一志・坂下明彦編著『北海道の農地問題』筑波書房、pp.1-335、1999

- 「本書の構成と課題」(序章2)
- 「地域農業の開発序列と農地移動—網走畑作地帯・訓子府町の事例」(3章3)160-170
- 「大規模酪農地帯における農地問題と交換分合の性格—根釧草地形酪農・別海町の事例」(4章1)
- 「畑地形酪農における農地移動の特徴と土地利用—道南・八雲町の事例」(4章3、菅沼弘生と共著)
- 「農地問題発現の地域的特徴とその対策」(9章2)
- 「農地問題への諸対策」(9章3)

岩崎徹・牛山敬二編著『北海道農業の地帯構成と構造変動』北海道大学出版会、2006

- 「地帯構成とその形成要因」(1章)
- 「水田型地帯—石狩川流域農業」(2章1節)
- 「下流域における農業構造の変動」(3章2節)
- 「農協による地域営農システムの展開」(3章6節3、小山良太と共著)
- 「北海道農業の到達点と課題」(終章2節、岩崎徹・長尾正克と共著)

坂下明彦「北海道稲作の立地構造と担い手の類型的把握」(永田恵十郎・波多野忠雄編著『土地利用型農業の再構築と農協』農山漁村文化協会)1995

坂下明彦「農政の新段階と農業組織再編—北海道水田地帯の農協の対応」『北海道農業経済研究』5巻2号、1996

坂下明彦「稲作の生産調整と農業構造変化—北海道の減反再強化の影響」『農業と経済』63巻2号、1997

『北海道農業の中山間問題』北海道地域農業研究所、1996

『北海道農業の中山間問題2』北海道地域農業研究所、1997

『北海道農業の中山間問題3』北海道地域農業研究所、1998

岩崎徹・坂下明彦・西村直樹「座談会：WTO 体制下の北海道農業の現状と論点」『日本の農業』208号、1999

坂下明彦「根室地域における農地移動の地域的性格」『北海道農業』No.27、2001

坂下明彦「北海道における農業近代化政策の受容構造－農業地帯構成論の視角から－」日本村落研究学会編『日本農業・農村の史的展開と農政』農山漁村文化協会、2001

坂下明彦「大規模水田地帯の地域農業再編－北海道長沼町・南幌町」田代洋一編『日本農業の主体形成』筑波書房、2004

坂下明彦「水田農業再編と農協営農指導－石狩川下流域の動向を中心に－」『北海道農業経済学研究』12巻2号、2005

### (3) 集落構造に関する研究

坂下明彦「大規模畑作地帯における農業展開と部落構造」『北海道農業』No.9、1989

坂下明彦「農業近代化政策の受容と「農事実行組合型」集落の機能変化－北海道深川市巴第5集落を対象に－」『農業史研究』第40号、2006

坂下明彦「北海道十勝畑作地帯の農業展開と集落構造－更別村旭集落小史－」大鎌邦雄編著『日本とアジアの農業集落－組織と機能』清文堂出版、2009

坂下明彦「経済・生活活動からみた北海道の農事組合の性格－栗山町継立第一農事組合を対象として－」柳村俊介・小内純子編著『北海道農村社会のゆくえ－農事組合型農村社会の変容と近未来像』農林統計出版、2019

### (4) その他

飯澤理一郎・坂下明彦「道南良質米生産の危機の構造」『北海道農業』別冊、1983

坂下明彦「北海道における土地改良区の組織と経営」北海学園大学『経済論集』39巻2号、1992

坂下明彦「『白書』が示す北海道農業とその現実」『農業と経済別冊 平成4年度農業白書の徹底分析』、1993

吉本諭・近藤巧・坂下明彦「食卓自給率の試算－北海道の食卓から自給率を考える」『農経論叢』第70集、2015

金丸大輔・正木卓・坂下明彦「北海道水田地帯における中山間地域等直接支払制度の運用と課題－栗山町を事例として－」『農経論叢』第71集

福澤萌・小林国之・坂下明彦「農作業ヘルパーの農業・農村への関わり方に関する一考察－北海道富良野市における就業者の属性と就業意向の分析から－」『協同組合学研究』37巻2号、2017

### (5) 地域農業振興に関する調査 【北海道地域農業研究所 1990～】

地域農業研究所：地域農研研究叢書

『都市近郊水田農業の構造問題と発展方向』No.1(東旭川農協)1991

『広域合併農協における営農指導体制』No.2(とうや湖農協)1991

『旧開・高生産力地帯における個別営農展開の軌跡と地域農業振興の課題』No.4(栗山町)1992

『野菜産地形成と生産・生活複合化農業の可能性』No.5(厚沢部町)1992

『経種馬地帯における地域農業の課題』No.10(ひだか東農協)1993

『旧開稲作地帯における野菜産地化の課題』No.11(前田農協)1993

『追分町農業振興方策の課題』No.17(追分町)1994

『低コスト・放牧型酪農の可能性』No.23(豊富町)1995

『北海道における中小規模集約酪農の進路』No.29(八雲町農協)1997

『十勝大規模経営の到達点と課題』No.30(更別農協)1997

『地域農業振興計画の実践と課題－北海道地域農業研究所「共同研究」10年の軌跡』2000

『根室酪農の展開過程と今後の展望』No.34(根室支庁管内)2001

『東川町全農業者意向調査報告書』北海道地域農業研究所、1999

『大規模草地型酪農に関する調査業務報告書』北海道地域農業研究所、2000

『空知農業の現状とその課題に係る調査研究 [中間報告書]』北海道地域農業研究所、2006

『空知農業・農協運営の現状と課題』北海道地域農業研究所、2007

### Ⅲ. 農協問題に関する研究

#### (1) 農協合併に関する研究 [協同組合研究室、北海道地域農業研究所 1986～]

「北海道における広域合併農協に関する研究」(『農経論叢』)

- 第1報「西胆振地区5農協の合併前夜」『農経論叢』第43集、1987
  - 第2報「とうや湖農協の設立過程」『農経論叢』第44集、1988
  - 第3報「とうや湖農協の組織整備過程」『農経論叢』第45集、1989
  - 第4報「とうや湖農協における合併メリット」『農経論叢』第46集、1990、
  - 第5報「とうや湖農協における営農指導体制」『農経論叢』第47集、1991
  - 第6報「とうや湖農協10年の軌跡」『農経論叢』第54集、1998
- 「農協合併と「新総合農協」」『協同組合奨励研究報告』第16輯、1990

『北海道における農協の規模拡大・事業展開方式に関する調査研究』北海道地域農業研究所、1993  
『農協の大型合併に伴う経済事業展開に関する調査報告書』北海道地域農業研究所、1998  
『大型農協における経済事業展開に関する調査報告書』北海道地域農業研究所、2000  
坂下明彦「広域合併農協における地域農業振興の方向性」『農業と経済』64巻10号、1998

#### (2) 北海道の農協の組織・事業に関する研究 [北海道地域農業研究所・全中奨励研究 1999～]

- 坂下明彦「日本の北海道における農協生産部会の役割」『北海道農業』26号(第6回日韓シンポジウム特集)、2000
- 山内哲人・坂下明彦ほか「良質米・野菜複合産地における担い手の性格と農協営農事業の展開方向」『農経論叢』第56集、2000
- 坂下明彦ほか「農協の生産・営農指導事業の収益化方策に関する研究ー北海道を対象としてー」『協同組合奨励研究報告』第27輯、家の光出版総合サービス、2001
- 『北海道における農協事業方式の地域性と経済事業収益化の課題』叢書 No.36、北海道地域農業研究所、2002
- 『農協組合員意向調査報告書(21世紀北海道の農協事業運営体制の再構築に関する調査(1))』北海道地域農業研究所、2003
- 『農協意向調査報告書(21世紀北海道の農協事業運営体制の再構築に関する調査(2))』北海道地域農業研究所、2003
- 『農協改革への提言ー北海道の内なる改革をめざして(21世紀北海道の農協事業運営体制の再構築に関する調査(3))』北海道地域農業研究所、2005
- 『北海道における農協事業方式の地域性と経済事業収益化の課題』(研究叢書 No.36)北海道地域農業研究所、2002
- 『農協における地域農業支援体制の構築と実践ー農協営農支援事業の広域的展開に伴う課題の抽出と改善方策に関する提言ー』北海道地域農業研究所、2007
- 『流通多チャンネル化に対応した産地・生産部会の動向ー産地形成のための農協と生産部会の関係、機能分担のあり方ー』北海道地域農業研究所、2008
- 『北海道における担い手育成の組織的対応ー担い手育成に対する新たな教育システム等に関する調査研究報告書ー』北海道地域農業研究所、2008
- 『食農教育の展開と直販施設等からの発信ー地元密着型の「食と農」に対する意識啓発の展開ー』北海道地域農業研究所、2009
- 『グリーンツーリズムの経済効果と類型把握ー地域経済活性化策としての産業観光の創出(1)(2)』北海道地域農業研究所、2009
- 『北海道における農村福祉問題の構図と農村福祉活動の展望』北海道地域農業研究所、2011

- 『JA の職員教育に関する調査報告Ⅱ』北海道農協学校・北農中央会、2013  
『北海道における農協経済事業の歴史的展開と今日的課題(独占禁止法適用除外問題)』北海道地域農業研究所、2013  
『JA 組合員学習活動に関する調査報告』北海道農協学校・北農中央会、2014  
『西日本先進地における農協生活関連事業の多面的展開』北海道地域農業研究所、2015  
『地方創生における農協・自治体の役割ー西日本の先進事例からー』北海道地域農業研究所、2016  
『農協改革と准組合員問題ー准組合員利用規制導入を仮定した JA 共済事業への影響予測ー』北海道地域農業研究所、2016  
坂下明彦「ホクレンの事業構造野段階的变化と園芸事業における企画提案型販売」『JC 総研「系統経済事業研究会」報告』JC 総研、2016  
『北海道における農村生活の変容と農協生活インフラ形成の意義』北海道地域農業研究所、2020  
星野愛花里・坂下明彦「ホクレンによる都市型インショップの展開と供給組織の形成ー月形新鮮組の事例からー」『農経論叢』第 74 集、2021

### **(3) 北海道の農業支援システムに関する研究 〔北海道地域農業研究所 2005～〕**

- 『北海道における農業生産法人の動向と展開方向』北海道地域農業研究所、2002  
『北海道における農業生産法人と農協ー地域農業との連携の視点から 中間報告書(事例編)』北海道地域農業研究所、2006  
『北海道における農業生産法人と農協ー地域農業との連携の視点から 拠点型法人化』北海道地域農業研究所、2007  
坂下明彦「北海道の農協営農指導事業と地域農業支援システム」田代洋一編著『協同組合としての農協』筑波書房、pp.51-73、2009  
坂下明彦編『地域農業の底力ー農協の可能性を拓く支援システム』北海道協同組合通信社、2009  
中山忠彦・正木卓・坂下明彦「会計事務所による農業経営の支援システム」『農経論叢』第 69 集

### **(4) 北海道の農協金融に関する研究 〔北海道地域農業研究所(信連) 2006～〕**

- 坂下明彦「北海道における農業金融の特質」飯島源次郎編『転換期の協同組合』筑波書房、1991  
『系統外金融機関の農業金融参入動向に関する調査』北海道地域農業研究所、2007  
『北海道の農業金融の課題と法人問題』北海道地域農業研究所、2009  
『北海道の農業生産法人と金融問題』北海道地域農業研究所、2010  
『北海道の農業生産法人と金融問題 II』北海道地域農業研究所、2012

### **(5) 北海道の農協の史的展開に関する研究**

- 坂下明彦・田渕直子『農協生産指導事業の地域的展開ー北海道生産連史』北海道協同組合通信社、1995  
佐伯利彦『友づれ』北海道協同組合通信社、2001(編集)  
『士幌農協 70 年の検証ー農村ユートピアを求めて』士幌町農業協同組合、2003  
(士幌農協研究会『士幌農協 70 年の検証ー農村ユートピアを求めてー』北海道協同組合通信社、2004)  
坂下明彦「友づれの思想ー佐伯利彦と洞爺村農協」太田原高昭・中嶋信編著『協同組合のエトスー北の群像』北海道協同組合通信社、2003  
大森隆・坂下明彦「鶏卵のフードシステムと系統農協の機能変化」『農経論叢』第 67 集、2012  
大森隆・坂下明彦「北海道における採卵養鶏業の経営分析」『フロンティア農業経済研究』17 巻 1 号、2013  
大森隆・松本啓祐・坂下明彦「ホクレンによる養鶏団地の形成とその後の推移」『農経論叢』第 70 集、2015



大森隆・長尾正克・坂下明彦「採卵養鶏部門における生産調整の実施とその帰結－北海道を中心に」『農経論叢』第 72 集、2018

藤田久雄・棚橋知春・中村正士・小林国・坂下明彦「県連主導型の農協事業体制と農協合併による一体化－鹿児島経済連のケーススタディ 独立系経済連の研究(2)－」『農経論叢』第 69 集、2014

藤田久雄・小林国・棚橋知春・中村正士・坂下明彦「単協と県連の事業一体化と販売優位の経済事業改革－愛知経済連のケーススタディ 独立系経済連の研究(3)－」『フロンティア農業経済研究』18 巻 2 号、2015

吉田成雄・坂下明彦「組合員と農協営農経済事業によるマーケティング－JA 甘楽富岡にみるインターナル・マーケティング－」『協同組合研究』40 巻 2 号、2020

## **(6) 総合的研究**

坂下明彦・小林国・正木卓・高橋祥世『総合農協のレーゾンデートル』筑波書房、2016

坂下明彦・朴紅・小林国・申鍊鐵・高慧琛編著『協同組合研究のヌーベルバーグ』筑波書房、2020

坂下明彦「総合農協の社会経済的機能－北海道の転換に注目して－」田代洋一・田畑保編『食料・農業・農村の政策課題』筑波書房、2019

## IV. 中国農業・農村の研究

### 1. 中国東北地方

#### (1) 中国東北の家族経営と農村諸組織に関する研究 [1993-1999]

朴紅・坂下明彦『中国東北における家族経営の再生と農村組織化』御茶の水書房、1999

朴紅・坂下明彦「中国東北部の農業構造と流通・金融組織の動向」『農経論叢』第51集、1995

坂下明彦・朴紅「人民公社解体後の個人農と農業諸団体の機能」『農経論叢』第51集、1995

坂下明彦・朴紅「現代中国東北における個人農経営の展開と土地保有調整」『農経論叢』、第52集、1996

坂下明彦・朴紅「中国東北農民の生産と経済—農家記帳調査の分析」『農経論叢』第53集、1997

朴紅・坂下明彦「中国東北における国営農場改革の特質」『農経論叢』第54集、1998

#### (2) 国有農場に関する研究 [1998-2013]

朴紅・坂下明彦・ダー志剛・由田宏一「中国三江平原における国有農場の水田開発と稲作経営」  
『農経論叢』第57集、2001

朴紅・坂下明彦「中国国有農場における畑作の双層経営システムと職工農家の展開—新華農場・  
第10生産隊の事例分析」『農経論叢』第60集、2004

坂下明彦・朴紅「中国国有農場と稲作職工農家」村田武編『再編下の家族農業経営と農協—先進  
国輸出国とアジア—』筑波書房、2004

朴紅・張錦女・坂下明彦「中国三江平原における稲作経営の展開と機械化—新華農場第  
17生産隊の事例(その1)」『農経論叢』第64集、2009

朴紅・張錦女・坂下明彦「中国三江平原における稲作経営の労働過程と農家経済—新華農  
場第17生産隊の事例(その2)」『農経論叢』第64集、2009

Hong Park, Lienwen Liang and Akihiko Sakashita, Paddy Field Development and Rice  
Farming Management of State Farms on the Sanjiang Plain, China, Journal of Rural  
Economics Special Issue 2009

朴紅・張錦女・坂下明彦「中国三江平原における水田開発の特質—国有農場の展開に着目して—」  
『農経論叢』第65集、2010、pp.83-100

Hong Park, Lienwen Liang and Akihiko Sakashita, Characteristics of Family Farm  
Management and the Farm Economy in Paddy Areas on the Sanjiang Plain, China, Journal  
of Rural Economics Special Issue 2010

Hong Park, Akihiko Sakashita, Characteristics of Agricultural Development on the Sanjiang  
Plain-Case Study of Irrigation and Drainage Development of State Farm -, Journal of  
Agricultural Science and Technology, A 1, 751-763, 2011

朴紅・坂下明彦「大規模稲作地帯の形成と精米企業展開の特質—中国黒龍江省八五四農場を対象  
に—」『農経論叢』第68集、2013、pp. 107-116

坂下明彦「満州農業移民の営農実態と漢族・朝鮮族—A氏「三股流物語—或る満州開拓団員の青春  
行伏記」を素材として—」『日本の科学者』30巻10号、1995

#### (3) 一般農村の稲作経営に関する研究

朴紅・坂下明彦「中国東北における稲作貧困地帯の農村と農民」『農経論叢』第52集、1996

朴紅・青柳斉・伊藤亮司・張錦女・坂下明彦「中国東北の有機栽培米の産地化と農民組織の形成  
—黒竜江省五常市の事例分析(2)—」『農経論叢』第66集、2011

朴紅・坂下明彦・伊藤亮司・張錦女・青柳斉「中国東北の有機栽培米産地における生産基盤—黒  
竜江省五常市の事例分析(3)—」『農経論叢』第66集、2011

李雪蓮・朴紅・坂下明彦「中国東北地方における朝鮮族出稼ぎによる集落の農地移動調整」『フ

- ロンティア農業経済研究』19巻1号、2016  
李雪蓮・朴紅・坂下明彦「韓国における労働力不足問題と外国人労働力の受入政策の展開－中国朝鮮族出稼ぎ労働者の就業を中心に」『農経論叢』第72集、2018  
Hong Park, Hui Chen Gao and Akihiko Sakashita, Formation of Organic Rice Production Areas and Specialized Farmers Cooperatives in Northeast China-A Case Study of Wuchang City, The Frontiers of Agricultural Economics, 19-1, 2016

## 2. 中国沿海地方

### (1) 中国沿海農業の集約化と組織化に関する研究 [1998-]

- 朴紅・坂下明彦・太田原高昭「中国における野菜産地形成と農村協同組合の機能」『農経論叢』第55集、1999  
黒河功・朴紅・坂下明彦「中国沿海部における農業合作社の展開と類型」『農経論叢』第57集、2001  
坂下明彦「中国の農村経済組織の展開と竜頭企業による産地組織化」『農業・農協問題研究』第32号、2005  
Huichen Gao, Hong Park and Akihiko Sakashita, Development of Organic Farmers' Cooperatives in East China: A Case Study of Dai Village, Jurong City The, Japanese Journal of Rural Economics 17, 2014, pp.92-97.  
Huichen Gao, Hong Park and Akihiko Sakashita, Conventionalization of organic agriculture in China, A case study of Haobao Organic Agricultural Company in Yunnan Province, *The Japanese journal of Agricultural Economics*, Vol.19, 2017  
高慧琛・李雪蓮・朴紅・坂下明彦「中国における持続可能な農業の展開」『農経論叢』第72集、2018

### (2) 中国輸出野菜基地に関する定点観測的調査 [2001 - 2008]

- 坂爪浩史・朴紅・坂下明彦編著『中国野菜企業の輸出戦略－残留農薬事件の衝撃と克服過程－』筑波書房、2006  
朴紅・坂下明彦・小野雅之・久野秀二・坂爪浩史・太田原高昭「中国輸出向け野菜加工企業における原料の集荷構造」『農経論叢』第58集、2002  
坂下明彦・朴紅・小野雅之・西村直樹・黒河功・太田原高昭「中国輸出野菜産地における食品企業の産地組織化」『農経論叢』第58集、2002  
朴紅・坂下明彦「「残留農薬パニック」後の中国輸出向け野菜加工企業の原料集荷構造の転換－山東省青島地域の食品企業の事例分析(3) 万福食品と北海食品」『農経論叢』第60集、2004  
坂下明彦「中国における日本向け野菜開発輸入産地の再編と地域農業」『農村と都市をむすぶ』No.636、2004  
朴紅・坂下明彦「中国輸出野菜産地における村民委員会組織型集荷構造の転換－山東省青島地区の食品企業の事例分析(4) 万福食品」『農経論叢』第63集、2008  
坂下明彦・朴紅「中国輸出向け野菜加工企業における農場依存型酒家方式の展開－山東省青島地区の食品企業の事例分析(5) 北海食品」『農経論叢』第63集、2008

### (3) 都市近郊農村の定点観測的調査－江村の追跡調査 [2004～]

- 坂下明彦・朴紅・市来正光「中国蘇南地域における農業生産システムの変化と土地問題－江村の追跡調査(1)」『農経論叢』62集、2006  
朴紅・坂下明彦・市来正光「中国蘇南地域の農村工業化と就業構造－江村の追跡調査(2)」『農経論叢』62集、2006  
朴紅・市来正光・坂下明彦「中国蘇南地域における農家の就業構造の特質－第13組のモ

- ノグラフィー 江村の追跡調査(3)ー 『農経論叢』 第 63 集、2008
- 朴紅・坂下明彦・姚富坤「中国蘇南地域における農地転用と農地調整ー江村の追跡調査(4)ー」 『農経論叢』 第 65 集、2010
- 坂下明彦・朴紅・姚富坤「中国蘇南農村の家屋の変化と人口的背景ー江村の追跡調査(5)ー」 『農経論叢』 第 65 集、2010
- Hong PARK, Akihiko SAKASHITA and Fukun YAO(2011), Similarities and Differences: A Comparison Between “Family Properties” in Rural Japan and China Based on Fieldwork in Kaixiangong Village, Bijiao : China in Comparative Perspective Working Paper Series No1, 2011
- 朴紅・坂下明彦・姚富坤「蘇南地域における農村工業の転換と雇用吸収力ー 江村の追跡調査(6)ー」 『農経論叢』 第 67 集、2012
- 朴紅・坂下明彦・姚富坤「蘇南地域における農村企業の展開と出稼ぎ労働者ー江村の追跡調査(7)ー」 『農経論叢』 第 67 集、2012
- 朴紅・坂下明彦「中国蘇南地域における内水面漁業・化繊織物業の企業的展開と農村金融ー江村の追跡調査(8)ー」 『農経論叢』 第 74 集、2021
- 王鄢・朴紅・坂下明彦「中国蘇南農村における高齢者の生活と老親扶養の性格ー開弦弓村を事例にー」 『フロンティア農業経済研究』 23 卷 1 号、2021

### 3. 海南島における国有農場調査 [2015-2019]

- 朴紅・坂下明彦「中国海南省の国営農場における自営経済の展開ー南浜農場の熱帯果樹と冬期野菜産地を事例にー」 『農経論叢』 第 72 集、2018
- 朴紅・坂下明彦「中国海南島における少数民族集落の職工農家の就業構造ー国有南浜農場の黎族集落を対象としてー」 『フロンティア農業経済研究』 22 卷 2 号、2020

## V. 韓国の農業・農村研究

### 1. 韓国農業の地帯構成に関する研究 [1992~2018]

#### (1) 都市近郊農村－泉田里の定点観測

李榮吉・板橋衛・坂下明彦・黒河功「韓国における農業経営展開と農協利用」『農経論叢』第 50 集、1994

板橋衛・李榮吉・坂下明彦「韓国における地域農業再編下の農協の与信機能」『農業経済研究』66 巻 4 号、1995

坂下明彦「韓国都市近郊農村の構造変動」『北海道農業』No.22、1997

#### (2) 中山間農村－忠清北道

糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国中山間地域における農業構造の特質」『農経論叢』第 57 集、2001

糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国中山間地域における農業構造とその再編－忠清北道青川面を対象に－」『2001 年度日本農業経済学会論文集』2001

糸山健介・坂下明彦・朴紅・宋春浩「韓国中山間地域における農業構造の変動と自生的対応の意義－忠清北道槐山郡青川面K里を事例として－」『農経論叢』62 集、2006、pp.65-75

#### (3) 平場農村－全羅北道

糸山健介・坂下明彦・朴紅・宋春浩「韓国稲作地帯における大規模農家の存立条件と地域農業の特質」『農経論叢』第 58 集、2002

糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国平場稲作地帯における上層農の形成と課題－全羅北道の事例」『農経論叢』60 集、2004

糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国における大規模稲作農家の形成とその条件－全羅北道金提市を事例として－」『2004 年度日本農業経済学会論文集』2004

#### (4) まとめ

坂下明彦「農業地帯別にみた稲作農家の性格」『韓国農業の展開と戦略』(行政対応特別研究(FTA・WTO プロジェクト)研究資料 第 2 号)農林水産政策研究所、2006

### 2. 韓国農業の新しい動き

#### (1) 新環境農業

坂下明彦・朴紅・申鍊鐵・禹暎均「プルム学校を基点とした有機農業の展開と農村協同組合－韓国忠清南道洪城郡の事例－」『農経論叢』第 66 集、2011

#### (2) 山間農業とマウル開発

坂下明彦・申鍊鐵・朴紅・松木靖・禹暎均「韓国における高原野菜産地の特質－太白市の白菜団地を対象に－」『農経論叢』第 71 集、2017

Cho Young-Jae, Sakashita Akihiko, Shin Dong-Cheol, A Study on the Recent Discussion and Policy Trends of Japan for the Development of Marginal Village Policy, Journal of The Korean Society of Rural Planning, Vol.24, No.1, 2018

#### (3) 農協広域販売体制

黄盛壹・坂下明彦「韓国における農協連合マーケティング事業の展開と機能変化」『協同組合研究』38 巻 1 号、2018

黄盛壹・申鍊鐵・朴紅・坂下明彦「韓国における多品目産地の農協連合販売事業の展開－全羅北道南原市を事例として」『農経論叢』第 72 集、2018

### 3. 歴史研究

糸山健介・坂下明彦・蘇淳烈「植民地朝鮮における産業組合の一特質－不二農村産業組合を中心に－」韓国農業経済学会『農業経済研究』第 46 巻第 4 号、2005

### 4. 日韓シンポの成果

坂下明彦・李炳旣『日韓地域農業論への接近』筑波書房、2013

朴紅・糸山健介・坂下明彦「東アジアにおける農村開発政策の展開と課題－日中韓の比較－」

## VI. 台湾農業研究 [1998-2005]

坂下明彦・朴紅・太田原高昭「台湾における郷村型農会の事業構造」『農経論叢』第 56 集、2000、pp.149-159

坂下明彦・朴紅・西村直樹「台湾嘉南平原における農家経営と土地利用—官田郷農会を対象として」『農経論叢』60 集、2004、pp.79-87

梁連文・朴紅・坂下明彦「台湾における郷村型農会の営農指導事業の展開—三星地区農会を事例として—」『農経論叢』60 集、2004、pp.89-101

## VII. その他海外に関する研究

### (1) ポーランド農村の研究 [1990~1992]

吉野悦雄編著『ポーランドの農業と農民』木鐸社、1993

「カミオンカ部落の農業構造」(第2部1章2節)

「調査農家の経営分析」(第2部2章)

坂下明彦「ポーランドの農業構造と個人農の存在形態」『農業問題研究』34号、1992

### (2) イギリスの農村社会に関する研究 [2002~]

Hong PARK, Tomohiro UCHIYAMA, Akihiko SAKASHITA. Three Generations on a Family Farm in Southwest England: A Case Study of Transfer and Developing Management, 『農経論叢』59集, 2003

吉野宜彦・朴紅・坂下明彦「ヘッジの丘を歩くー2003年2月イングランド・デボン酪農調査日記」『北海道農業』30号、pp.61-107、2003

山本謙治・小林国治・坂下明彦「イギリスの倫理的消費の社会化過程におけるキャンペイナーの役割」『農業経済研究』88巻4号、2017

### (3) 中央アジアに関する研究 [2010~]

中村正士・坂下明彦「タジキスタン農業の再編と農民組織の役割」『農経論叢』第67集、2012